World Platinum Investment Council

プラチナ四半期レポート プレゼンテーション
2022年第2四半期

於 ロンドン

2022年9月5日

著作権と免責事項

免責条項: 当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものであるその使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。当出版物のいかなる部分も出典の明記なしでいかなる形によってでも転載あるいは配布することはできない。当出版物に掲載された2019年から2022年のメタルズフォーカス社によるリサーチおよび解説はメタルズフォーカス社が著作権を有するものである。当出版物に掲載されたデータおよび解説の中の全ての著作権およびその他の知的財産権はメタルズフォーカス社に属し、発行者への第三者コンテンツ提供者である同社のみがその情報及びデータの中の知的財産権の登録をする権利がある。メタルズフォーカス社の分析、データ、その他の関連情報は掲載時点でのメタルズフォーカス社の判断を表したものであり、予告なく変更されることがある。当該データ及び解説のいかなる部分もメタルズフォーカス社の書面による承諾なしに資本市場（資金調達）のために使用することはできない。

当出版物に掲載された2013年から2018年のSFA社によるリサーチはSFA社が著作権を有するものである。当出版物に掲載された2013年から2018年のデータの全ての著作権およびその他の知的財産権はSFA社に属し、発行者への第三者コンテンツ提供者である同社のみがその情報及びデータの中の知的財産権の登録をする権利がある。SFA社の分析、データ、その他の関連情報は掲載時点でのSFA社の判断を表したものであり、予告なく変更されることがある。当該データ及び解説のいかなる部分もSFA社の書面による承諾なしに資本市場（資金調達）のために使用することはできない。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者およびコンテンツ提供者は、それが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者、コンテンツ提供者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家にための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者とコンテンツ提供者が、情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者とメタルズフォーカス社は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者とコンテンツ提供者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない。発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われない。

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供され、英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。

議題: プラチナ四半期レポート － 2022年第2四半期、2022年全体

World Platinum Investment Council

1.初めに
CEO ポール・ウィルソン

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレビュー
トレバー・レイモンド

3.現在のテーマ
エドワード・スターク

4.質疑応答
ポール・ウィルソン
トレバー・レイモンド
エドワード・スターク

議題:　プラチナ四半期レポート　ー　2022年第2四半期、2022年全体

World Platinum Investment Council

1.初めに

CEO ポール・ウィルソン

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレビュー

- 需給バランス: 2022年第2四半期と2022年全体予測

リサーチ・ディレクター　トレバー・レイモンド

3.現在のテーマ

エドワード・スターク

4.質疑応答

ポール・ウィルソン
トレバー・レイモンド
エドワード・スターク

2022年第2四半期の供給:総供給量は マイナス 7% 、鉱山供給の問題と廃車数の減少

SUPPLY	Q2 2021	Q1 2022	Q2 2022
Refined Production	**1,566**	**1,269**	**1,546**
South Africa	1,175	873	1,144
Zimbabwe	125	117	124
North America	75	66	65
Russia	137	163	161
Other	53	49	52
Inc(-)/Dec(+) in Producer Inventory	+18	-26	-21
Total Mining Supply	**1,584**	**1,243**	**1,525**
Recycling	**523**	**445**	**437**
Autocatalyst	409	329	327
Jewellery	98	98	92
Industrial	17	17	17
Total Supply	**2,106**	**1,688**	**1,961**

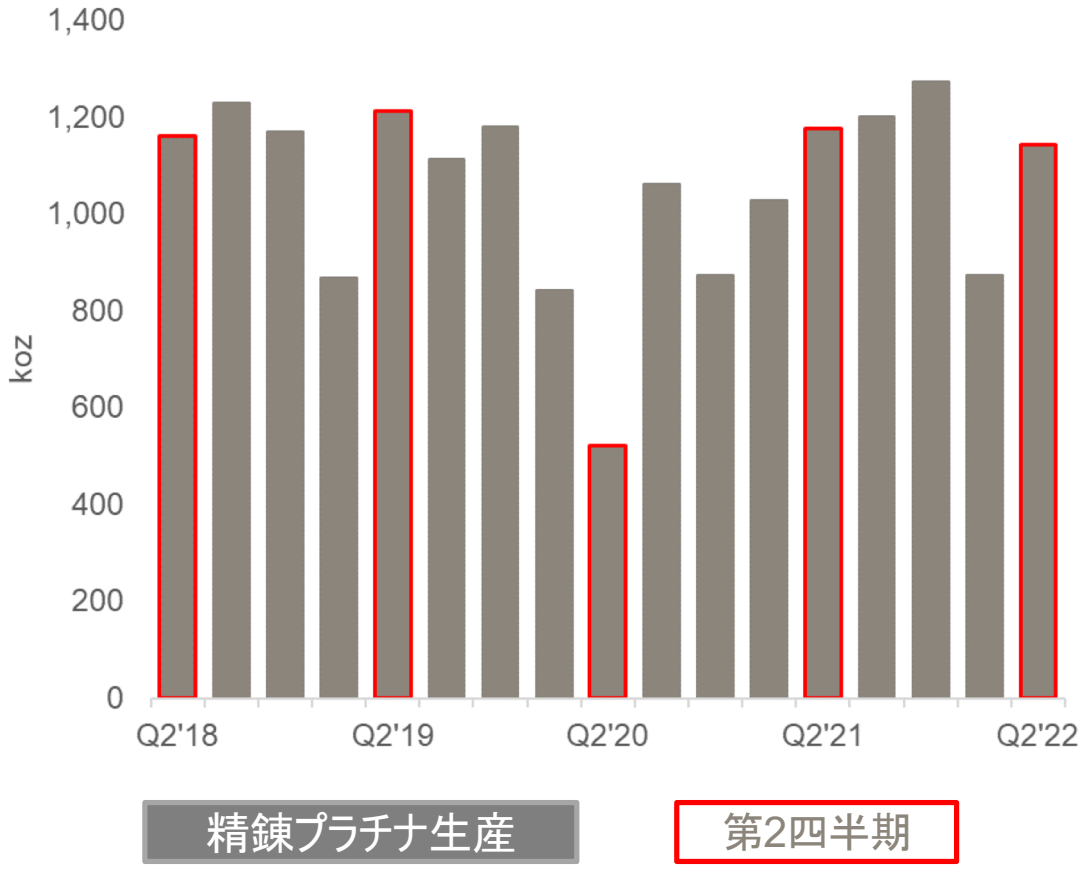
- 鉱山からの精錬プラチナ供給は前年比マイナス1% (-0.6トン)
- リサイクル供給は、前年比マイナス16% (-2.7トン)
- 第2四半期全体の供給は前年比マイナス 7% (-4.5トン)

資料: WPIC 四半期レポート2022年第2四半期, メタルズフォーカス

2022年第2四半期の南ア鉱山供給: 生産過程上の問題で前年比マイナス 3%

World Platinum Investment Council

南アフリカ精錬鉱山生　(koz)



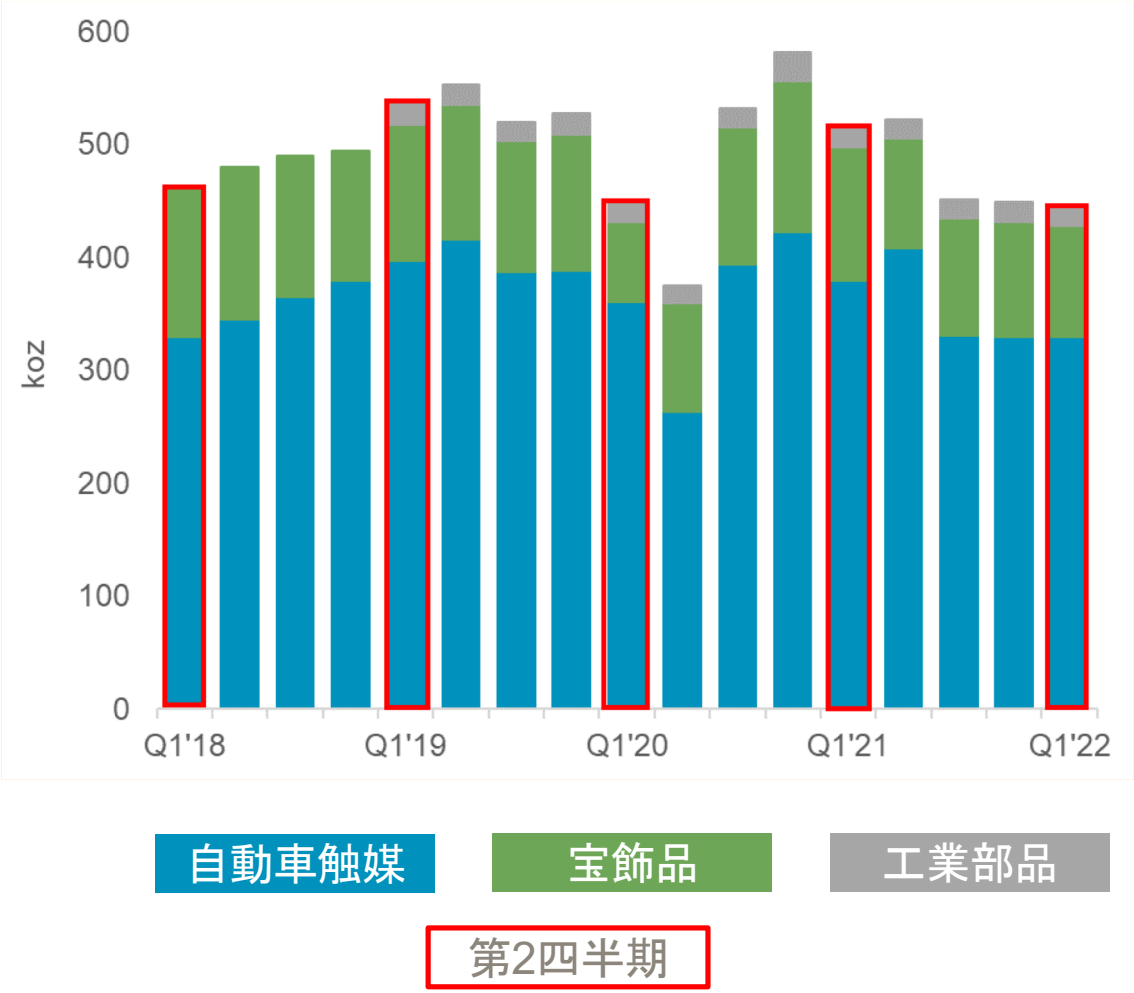
- 南アフリカの精錬プラチナ供給、前年比マイナス 3%　(-1.0トン) となった背景:
  - 新型コロナ感染症拡大による中断
  - 労働力不足
  - 深刻な停電

資料: WPIC 四半期レポート2022 年第2四半期, SFA (オックスフォード) 2017年第3四半期から2018年第4四半期まで, メタルズフォーカス 2019年第1四半期以降

2022年第2四半期のリサイクル: 廃車体と宝飾品の新旧交換が減りマイナス 16%

World Platinum Investment Council

リサイクル (koz)



- リサイクル供給は前年比マイナス 16% (-2.7トン) 、前期比マイナス 2%
- 自動車触媒のリサイクルは前年比マイナス 20% (-2.6トン) 、廃車までの期間が延び、廃車台数が減少
- 宝飾品のリサイクルは前年比マイナス5% (-0.2トン) 、宝飾品販売と関連する新旧交換の低迷

資料: WPIC 四半期レポート2022 年第2四半期, SFA (オックスフォード) 2017年第3四半期から2018年第4四半期まで, メタルズフォーカス 2019年第1四半期以降

2022 年第2四半期の需要: 自動車需要は好調、宝飾品需要と工業需要は投資需要の低迷で相殺

World Platinum Investment Council

DEMAND	Q2 2021	Q1 2022	Q2 2022
Automotive	**657**	**744**	**708**
Autocatalyst	657	744	708
Non-road	†	†	†
Jewellery	**470**	**469**	**496**
Industrial	**546**	**510**	**551**
Chemical	195	114	158
Petroleum	39	42	46
Electrical	35	30	27
Glats	83	109	100
Medical & Biomedical	62	68	68
Other	131	147	152
Investment	**187**	**-165**	**-142**
Change in Bars, Coins	107	61	70
Change in ETF Holdings	31	-169	-89
Change in Stocks Held by Exchanges	49	-58	-123
Total Demand	**1,860**	**1,558**	**1,612**
Balance	**247**	**130**	**349**

前年同期と比べた第2四半期の変化:

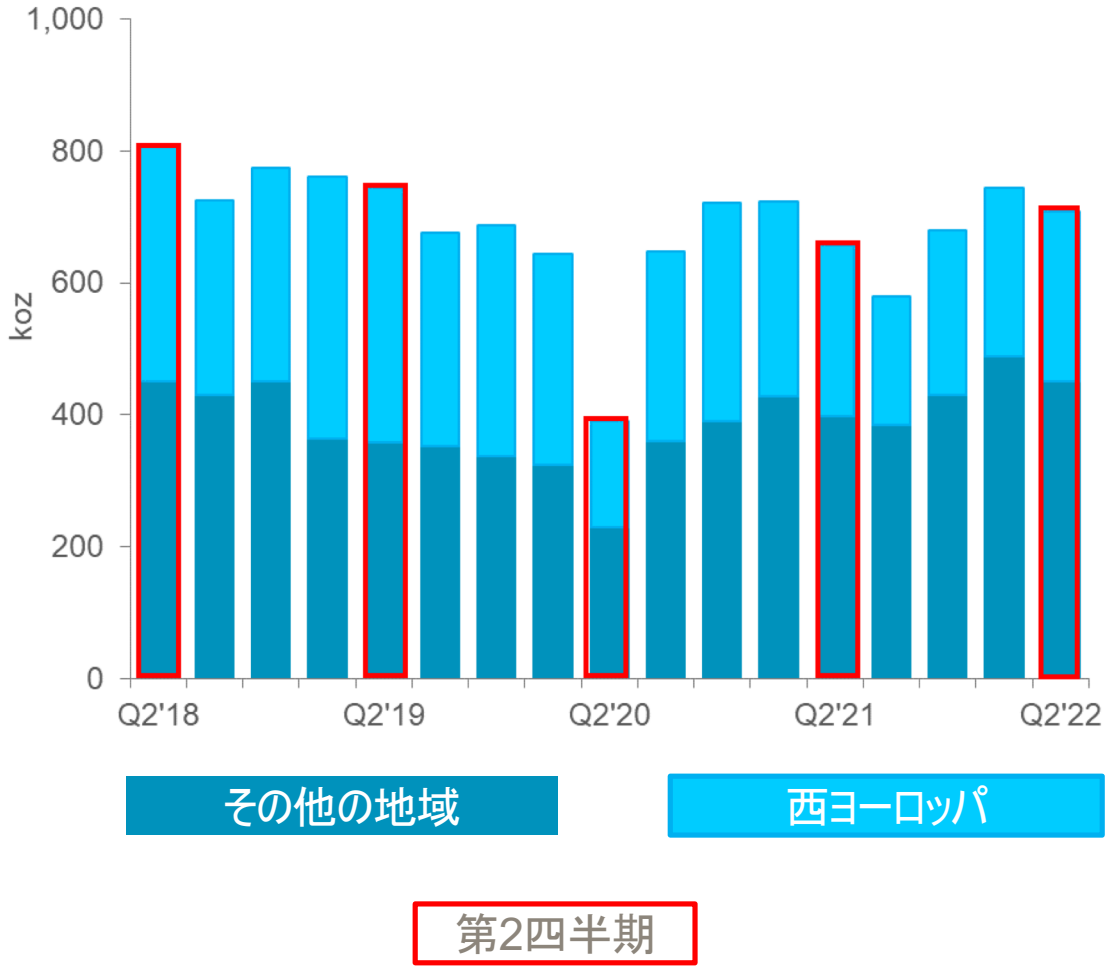
- 自動車需要は 8% 増(+1.6トン)
- 宝飾品需要は 5% 増(+0.8トン)
- 工業需要は僅かに増加 (+0.2トン)
- 投資需要は マイナス -10.2トン
  - インゴットとコインはマイナス1.2トン
  - ETF はマイナス3.7トン
  - 取引所在庫はマイナス5.3トン
- 市場の余剰は 10.9トン

資料: WPIC 四半期レポート2022年第2四半期, メタルズフォーカス 注: † 道路を通行する車両以外の自動車需要は触媒装置需要に含まれる

2022年第2四半期 自動車需要: 車両一台の触媒量の増加で生産台数の減少をカバー

World Platinum Investment Council

自動車需要 (koz)



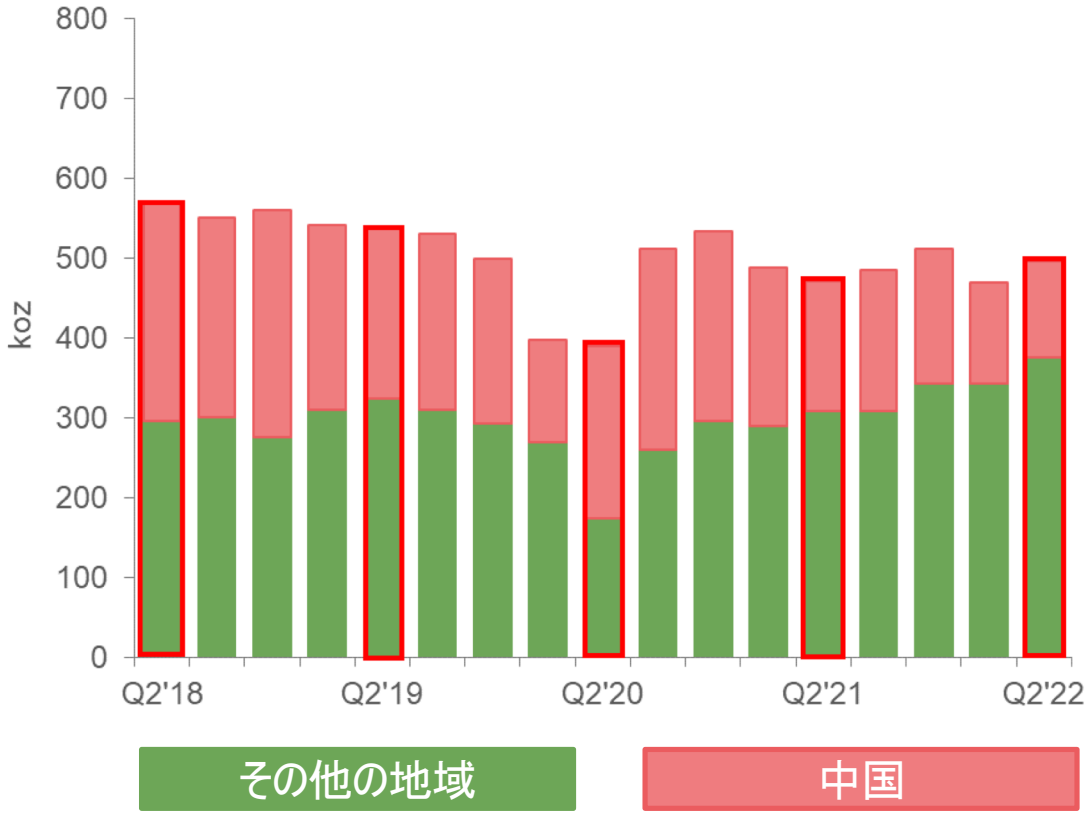
- 自動車需要は前年比 8% 増 (+1.6トン) で 22.0トン
- 自動車生産は低迷したが、プラチナ需要は持ち堪え
  - 内燃機関普通乗用車生産は前年比マイナス 4%
  - 大型車生産は前年比マイナス 31%
- 大型車の排気後処理システムでプラチナの比重が増加、ガソリンの普通乗用車でパラジウムに代わるプラチナが増える

資料: WPIC 四半期レポート2022 年第1四半期, SFA (オックスフォード) 2017年第3四半期から2018年第4四半期まで, メタルズフォーカス 2019年第1四半期以降

2022年第2四半期 宝飾品需要: 前年比 5% 増
コロナの影響を受けた中国をそれ以外の市場の伸びでカバー

World Platinum Investment Council

宝飾品需要 (koz)



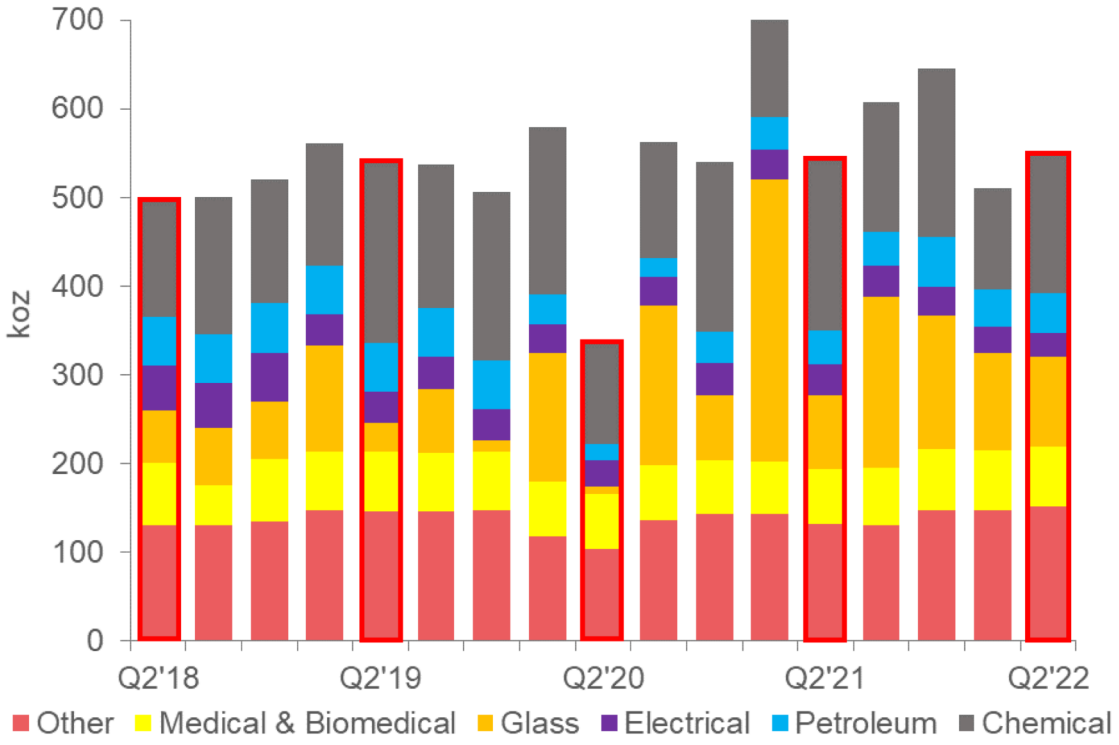
- 宝飾品需要は前年比 5% 増 (+0.8トン)
- 中国以外のほとんどの市場で伸び
- 中国の需要はコロナ対策の厳しいロックダウンで打撃
- 米国と日本で、順調な需要の成長
- インドの需要は前年比 80% アップ – コロナ以前の水準以上に

資料: WPIC 四半期レポート2022 年第1四半期, SFA (オックスフォード) 2017年第3四半期から2018年第4四半期まで, メタルズフォーカス 2019年第1四半期以降

2022年第2四半期 工業需要: 2021年の大幅な生産能力増強を経て、前年同期とほぼ変わらず

World Platinum Investment Council

分野別工業需要 (koz)



第2四半期

- 工業需要は前年同期とほぼ変わらず 1% 増 (+0.2トン)で17.1トン
  - 石油需要は前年比プラス17% (+0.2トン)
  - 化学需要は例外的に増えた前年同期からマイナス19% (-1.2トン)
  - ガラス需要は生産能力増強のタイミングにより、変化のなかった前年同期に比べて21% 増 (+0.6トン)
  - その他の工業需要は前年比 プラス16% 増 (+0.7トン)で、過去4年間で最高
  - 医療はプラス 8%、電子材はマイナス 23%

資料: WPIC 四半期レポート2022 年第1四半期, SFA (オックスフォード) 2017年第3四半期から2018年第4四半期まで, メタルズフォーカス 2019年第1四半期以降

2022年第1四半期 投資需要: ETF からの売りと取引所在庫の減少もインゴットとコインの需要は堅調

World Platinum Investment Council

カテゴリー別投資需要 (koz)

- 投資需要はネットで前年のプラス5.8トンからマイナス4.4 トンとなり、10.2 トンの減少
- バーとコインは主に日本での売り戻しと米国の四半期毎の変動で、前年比マイナス34% で 2.2トン。
- 金利の上昇とコモディティー価格の下落で、第2四半期のETF の売り、2.8 トンは他の貴金属市場でも同様の動き
- 中国の輸入に促されたネガティブ EFP レートで、第2四半期の取引所在庫の流出は3.8 トン

資料: WPIC 四半期レポート2022 年第1四半期, SFA (オックスフォード) 2017年第3四半期から2018年第4四半期まで, メタルズフォーカス 2019年第1四半期以降

2022 年全体: 供給の増加と、ネガティブな投資需要

World Platinum Investment Council

SUPPLY		2021	2022f	YoY, oz	YoY, %
Refined Production		**6,297**	**5,794**	***-502***	***-8%***
	South Africa	4,678	4,203	*-475*	*-10%*
	Zimbabwe	485	465	*-20*	*-4%*
	North America	273	275	*2*	*1%*
	Russia	652	646	*-6*	*-1%*
	Other	208	205	*-3*	*-1%*
Inc (-)/Dec (+) in Producer Inventory		-93	+0	*93*	*N/A*
Total Mining Supply		**6,204**	**5,794**	***-409***	***-7%***
Recycling		**1,936**	**1,720**	***-217***	***-11%***
	Autocatalyst	1,448	1,238	*-210*	*-15%*
	Jewellery	422	412	*-10*	*-2%*
	Industrial	67	70	*3*	*4%*
Total Supply		**8,140**	**7,514**	***-626***	***-8%***
DEMAND					
	Automotive	2,638	3,015	*376*	*14%*
	Jewellery	1,953	1,959	*6*	*0%*
	Industrial	2,507	2,132	*-375*	*-15%*
	Investment	-45	-565	*-520*	*N/A*
Total Demand		**7,053**	**6,540**	***-513***	***-7%***
Balance		**1,087**	**974**	***-***	***-10%***
Above Ground Stocks		**3,638**	**4,612**	***974***	***27%***

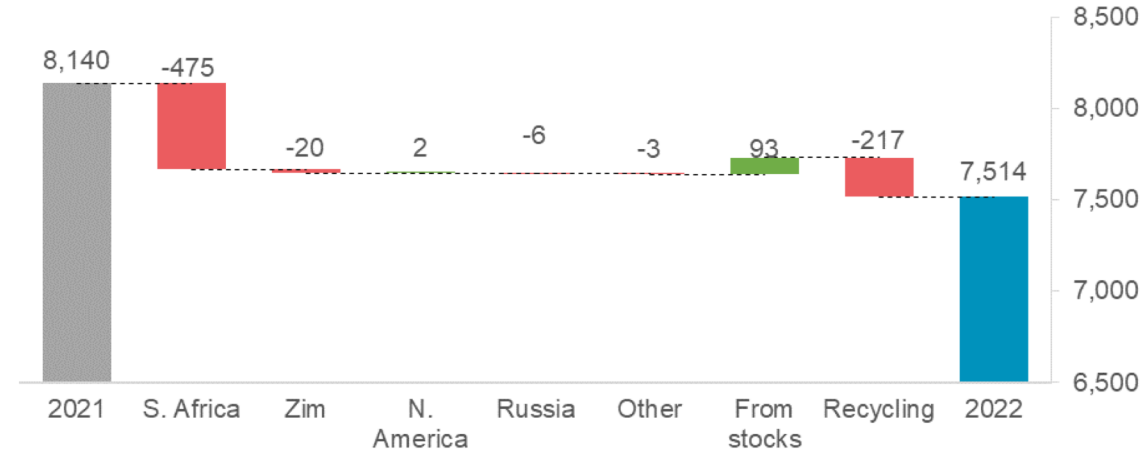
- 精錬プラチナ生産は前年比マイナス 8% (-15.6トン)
- リサイクルは前年比マイナス11% (-6.7トン)
- 自動車需要は好調(前年比+14%、+11.7トン)
- 工業需要は前年比マイナス15% (-11.7トン)
- 投資需要はマイナス16.2トン
- 市場の余剰は 30.3トンで、前回の 19.5トンから増加、2021年の余剰よりは10%低い

資料: WPIC 四半期レポート2022年第2四半期, メタルズフォーカス

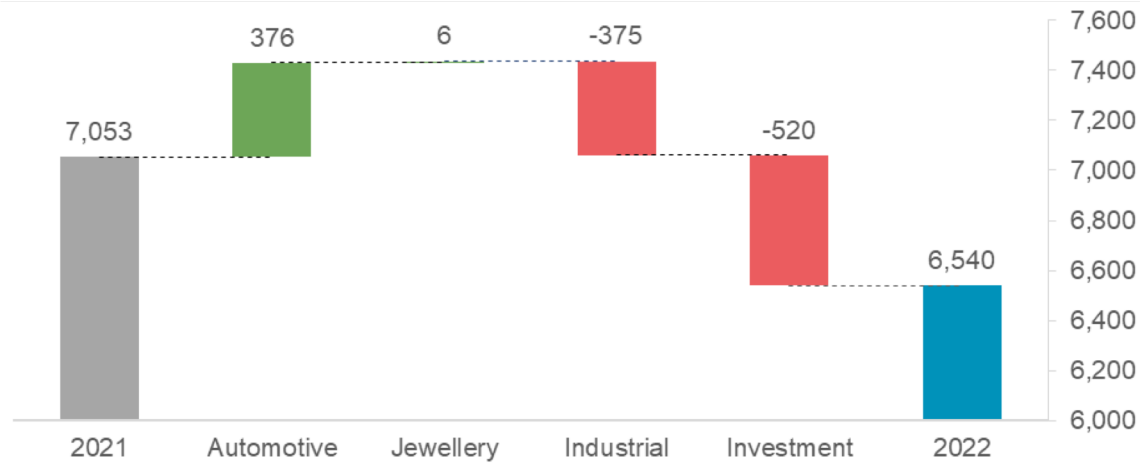
2022 年の展望: 供給と需要は低迷、余剰は高い水準

World Platinum Investment Council

2021年から2022年（予測）の年間総供給量の変化 (koz)



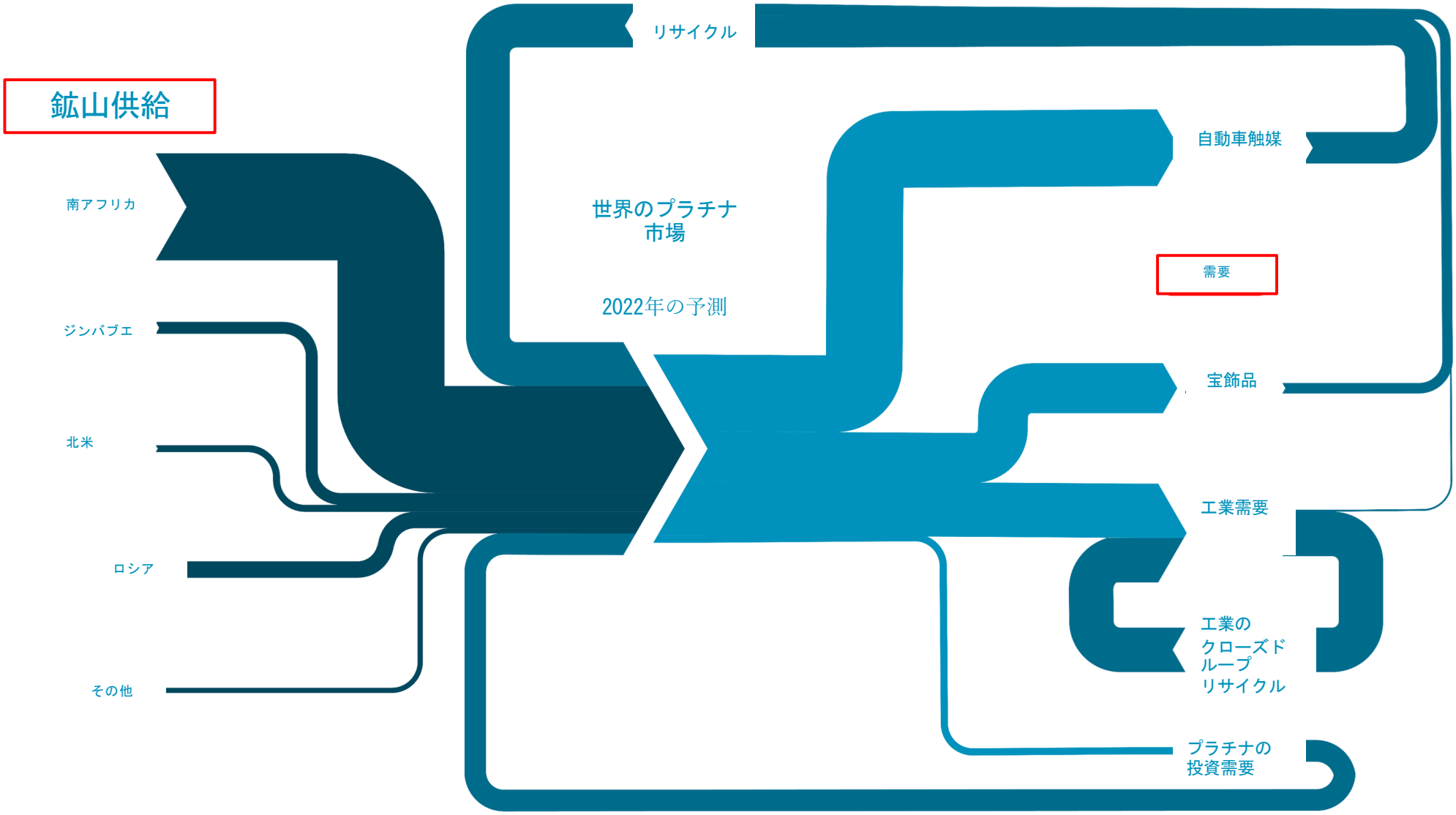
2021年から2022年（予測）の年間総需要量の変化 (koz)



- 南アフリカ精錬プラチナ生産、前年比マイナス10% (-14.8トン) で 130.7トン
- リサイクル供給は前年比マイナス 11% (-6.7トン) 廃車の自動車触媒の減少
- 自動車需要は前年比 14% 増 (+11.7トン) 車両一台の触媒量の増加が生産台数の減少を補う
- 工業需要は過去最高だった2021年から、マイナス15% (-11.7トン) 、しかし過去3番目に多い年間需要 66.3トン
- 投資需要は、ETFの売りと取引所在庫の流出が続き、前年比マイナス16.2トン

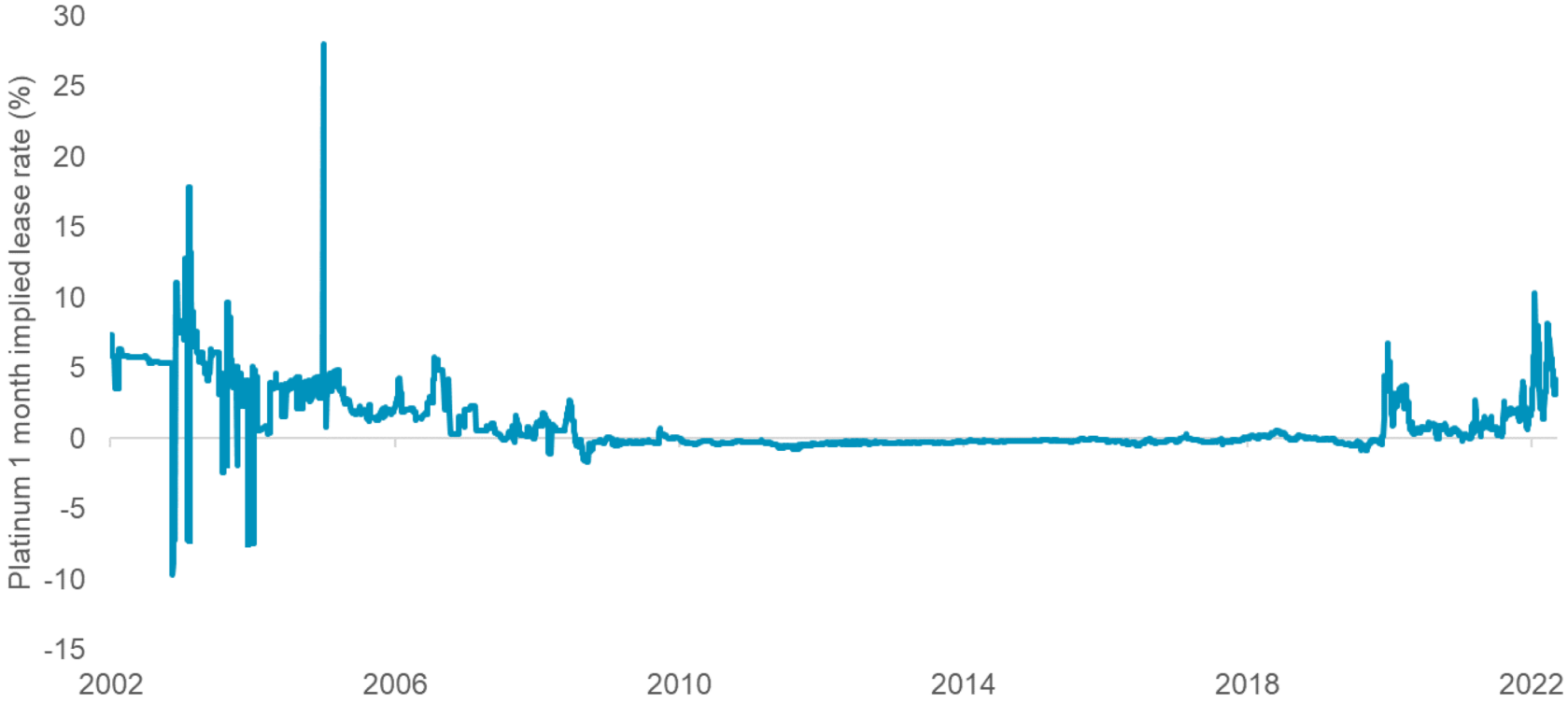
資料: WPIC 四半期レポート2022年第2四半期, メタルズフォーカス

鉱山生産者から、需要分野へのプラチナの流れと、リサイクルによる回収：2022年の年間予測



資料: WPIC 四半期レポート2022年第2四半期, メタルズフォーカス

プラチナのリースレートの上昇、現物市場のタイト感の継続を強調



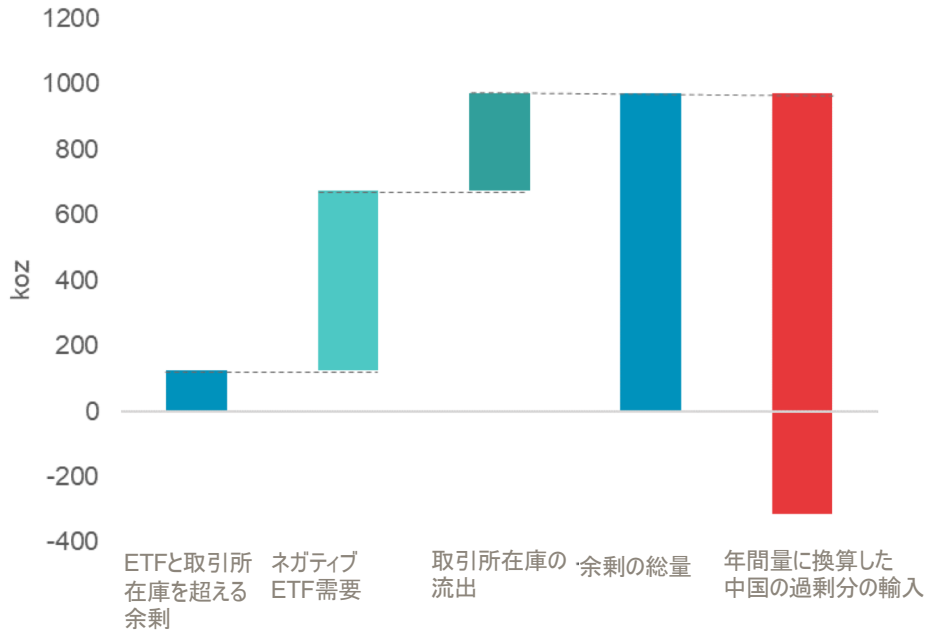
- 金利の上昇がリースレート上昇の背景の一つではあるが、現物市場の品不足が第一の原因
- その不足の度合いの大きさを反映しているのが、リースレートの大きな上昇で、5月には2000年代初め以来、最も高い水準に達した

資料: WPIC リサーチ、ブルームバーグ

中国の超過分の輸入量は年間に換算すると、予測される2022 年の市場の余剰を吸収

World Platinum Investment Council

中国の超過輸入量の推定 は、市場の余剰全体の吸収が可能



- 中国は需要を大きく超えるプラチナの輸入を続けている
- 上半期の輸入のネットを年間に換算し、需要を引くと、2022年の超過分の輸入量は 40.4トンに達する
- 中国は2022年に予測される市場の余剰分を完全に吸収できる

資料: メタルズフォーカス、WPIC リサーチ、ブルームバーグ

議題:　プラチナ四半期レポート　ー　2022年第2四半期、2022年全体

World Platinum Investment Council

1.初めに
CEO ポール・ウィルソン

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレビュー
リサーチ・ディレクター　トレバー・レイモンド

3. 現在のテーマ
- 経済環境の悪化
- 継続する現物市場の品不足
- 余剰消滅の可能性
- 脱炭素化に果たすプラチナの役割

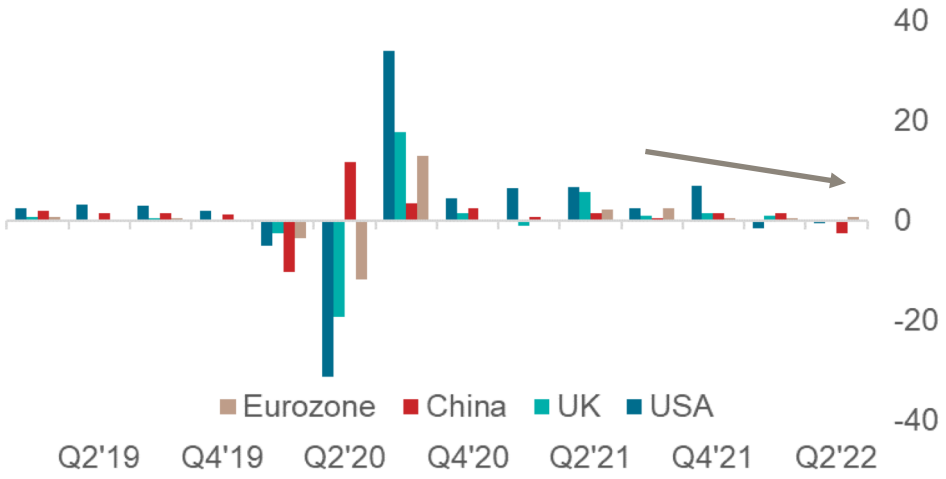
アナリスト　エドワード・スターク

4.質疑応答
ポール・ウィルソン
トレバー・レイモンド
エドワード・スターク

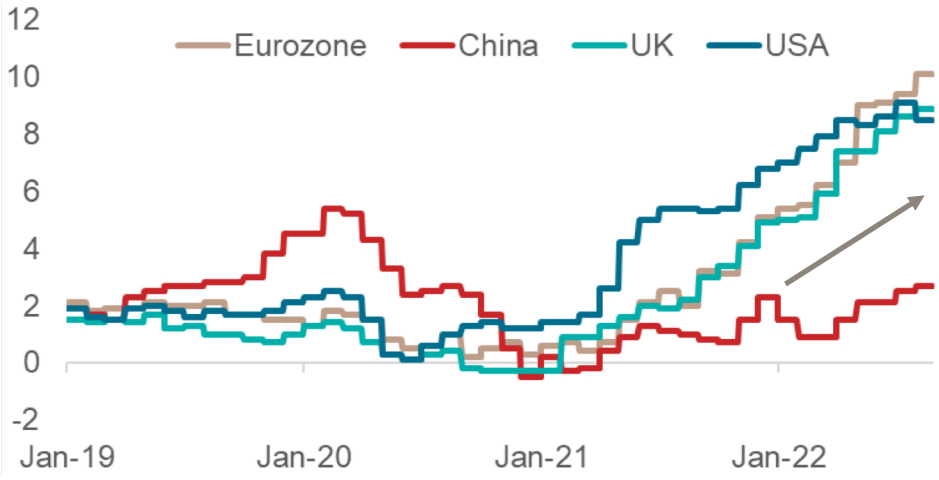
マクロな経済環境の不透明さ、矛盾する様々な兆候示す

World Platinum Investment Council

主要経済国のGDP 成長は ゼロあるいはマイナス成長の兆し



インフレ指数としての消費者物価指数、数十数年来の高い水準



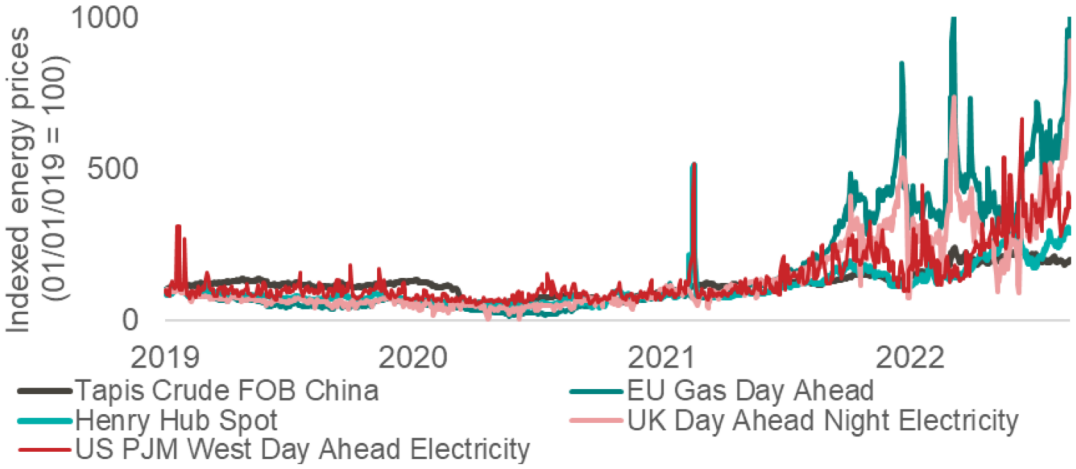
- 世界経済の停滞と 景気後退の高い可能性
- しかし 経済刺激政策ではなく、インフレが金利上昇を招いている
- 政府の後押しによる脱炭素プログラムで経済を活性化

資料: WPIC リサーチ、ブルームバーグ　注. 経済指標の方法は地域毎に差異があり、直接比較可能の場合もある

インフレ率上昇の背景は世界的なエネルギー危機と人件費の上昇

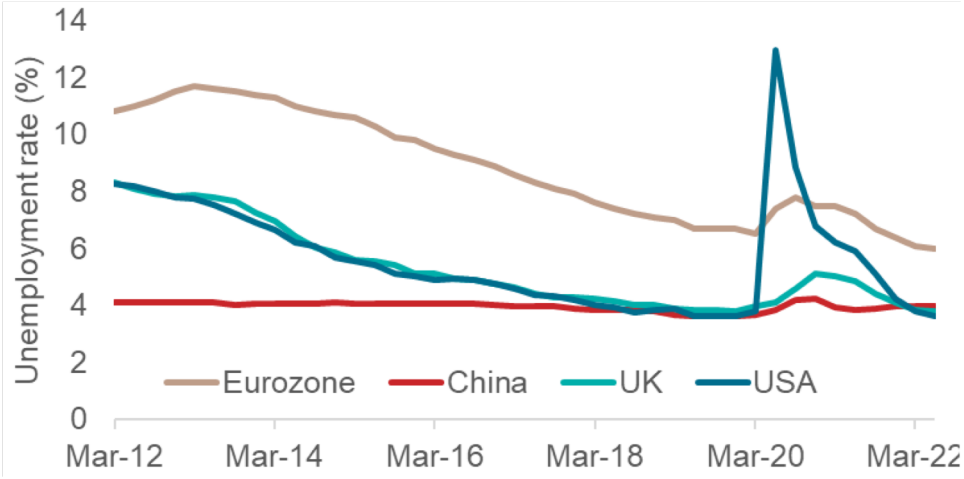
World Platinum Investment Council

エネルギー価格は世界各地で急騰



- エネルギー価格はロシアのウクライナ軍事侵攻で急騰

経済成長の鈍化にもかかわらず、失業率は低いまま



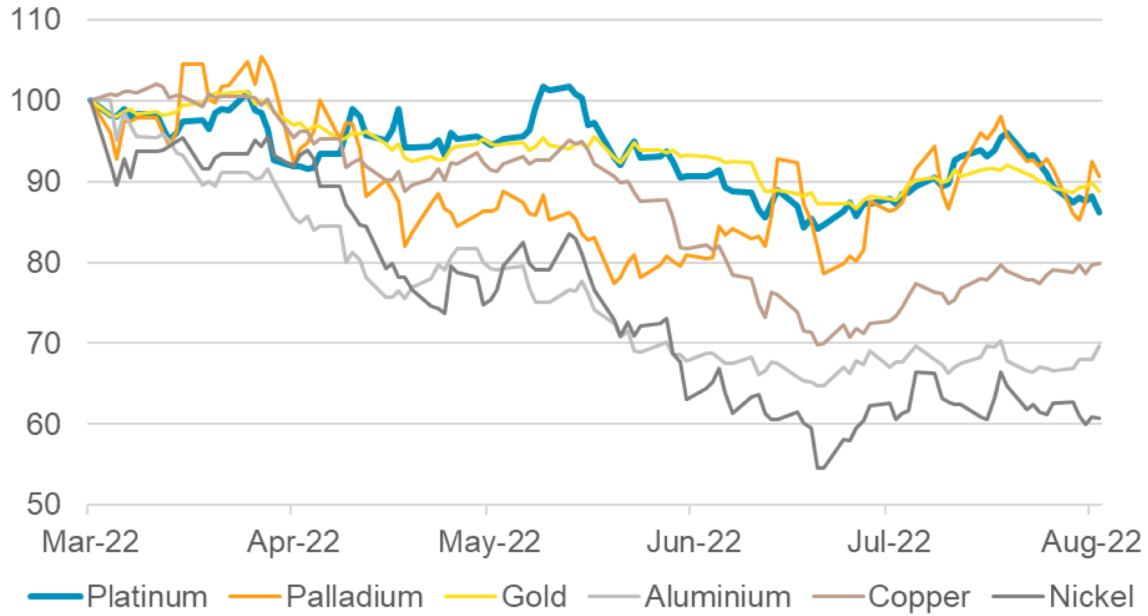
- 経済成長の鈍化にもかかわらず、失業率は低いまま

資料: WPIC リサーチ、ブルームバーグ　注. 経済指標の方法は地域毎に差異があり、直接比較可能の場合もある

弱含みではあるが、相対的にプラチナ価格のパフォーマンスは良好

World Platinum Investment Council

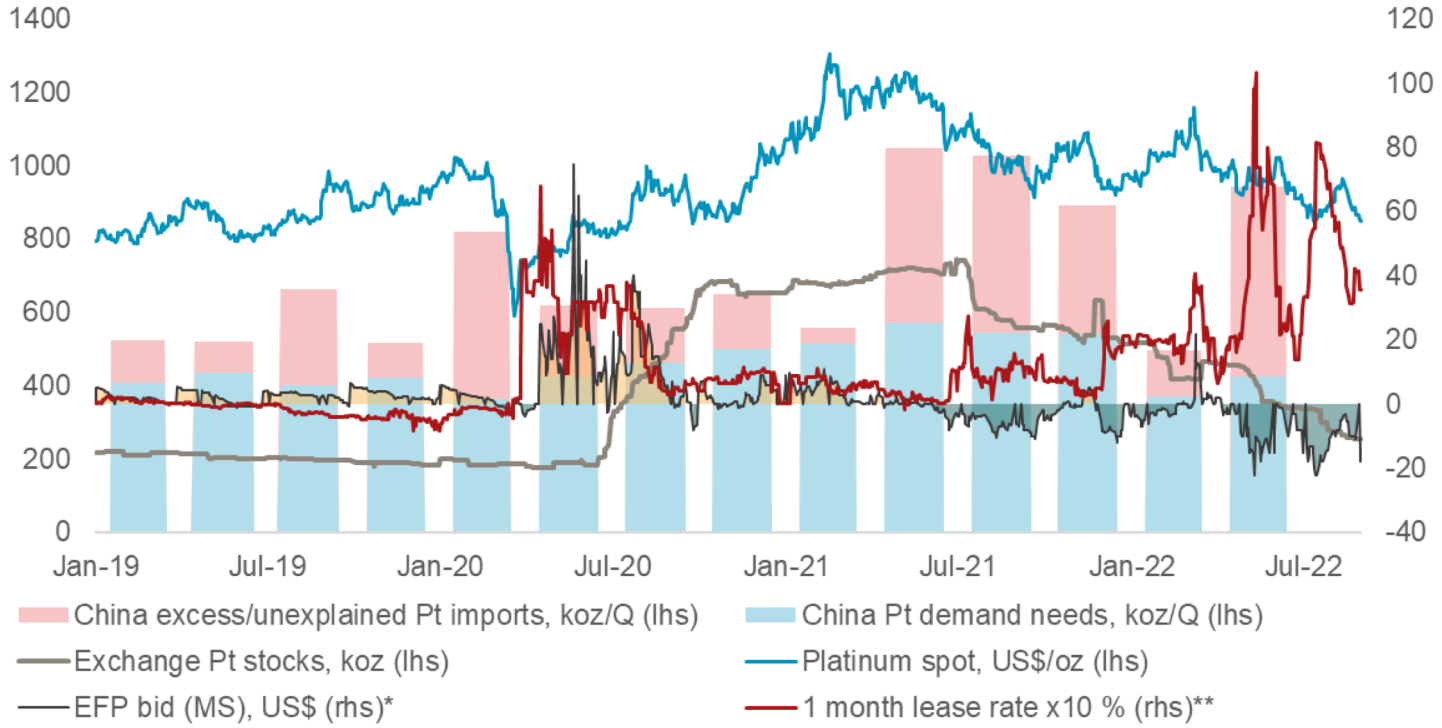
ロシアのウクライナ侵攻以来、プラチナのパフォーマンスは相対的に良好



- ウクライナ侵攻以来、プラチナとパラジウム価格のパフォーマンスは他のコモディティーを上回る
- プラチナにとってそれが意味するもの:
  - 安定供給への不安
  - 底堅い自動車、工業、宝飾品需要成長
  - 中国のプラチナ輸入量の続伸

資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ

市場のタイト感の背景は中国の輸入が最大の要因である可能性



- 中国が、自国の需要を超える量のプラチナを輸入し続けていることが、現物市場の品不足が続いている最大の原因である可能性が高い

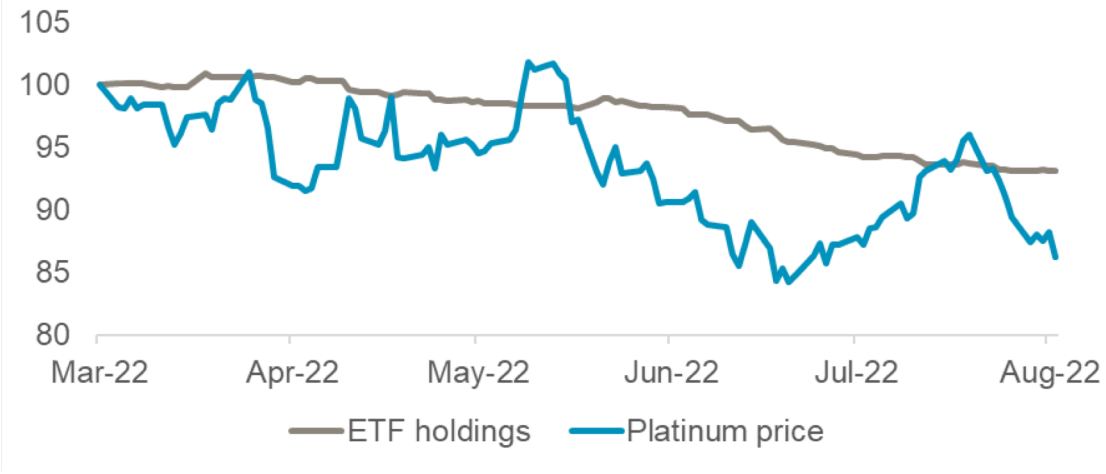
- これが高いリースレートが続き、ネガティブEFPレートの背景で、取引所在庫の流出につながっている。

資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ

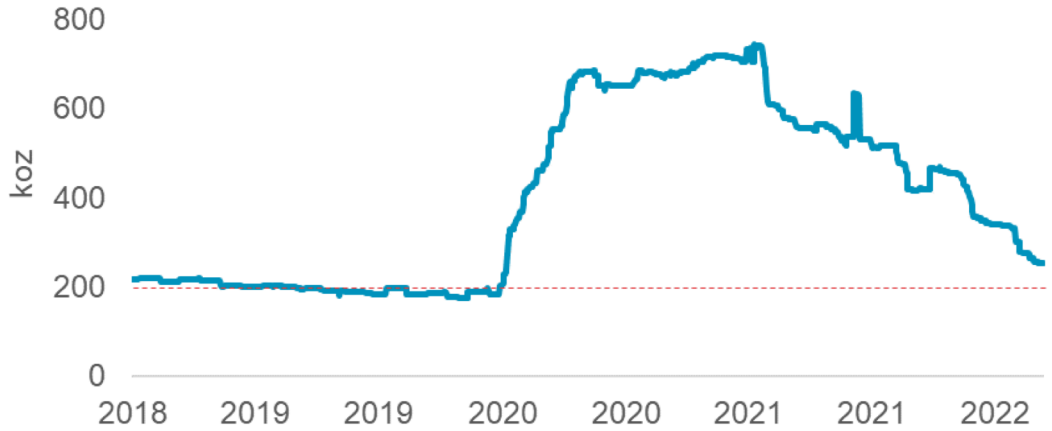
マーケットの現物不足場のためにETFS と取引所在庫に圧力 – 地上在庫に限界はあるのか

World Platinum Investment Council

ETF 需要とプラチナ価格



取引所在庫は歴史的な低水準に近づきつつある



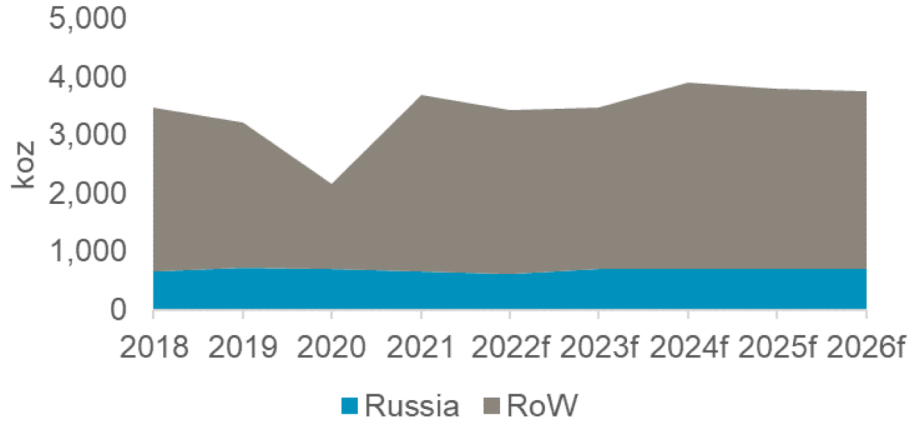
- 現在のETF 保有者は長期戦略と今後の価格上昇への期待が高い投資家であろう
- 取引所在庫の過去の平均水準が在庫流出の下限になると期待
- しかし、過去より低いリスク許容度は取引所在庫の最低ラインを押し上げる可能性がある

資料: ブルームバーグ、WPIC リサーチ

自発的制裁で、ロシア産材料は西側の自由市場から排除される可能性

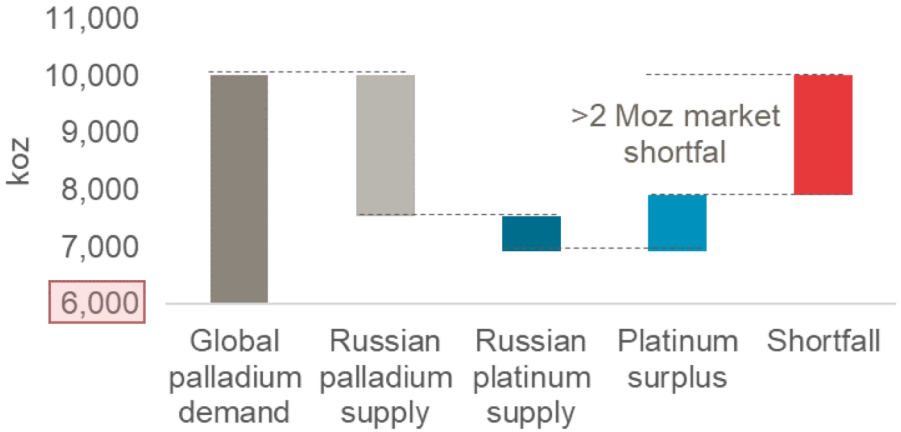
World Platinum Investment Council

鉱山会社各社の生産目標* によると、ロシアは引き続き世界のプラチナ鉱山供給の約10% を生産



- 西側諸国のプラチナユーザーは自発的にロシア産原材料を避ける可能性
- そうなれば、ガソリン車において、パラジウムの代わりに使われるプラチナが増える可能性

パラジウムとプラチナの代替率 1対1 とすると、2022年にロシア産のパラジウムをプラチナで代替することは不可能



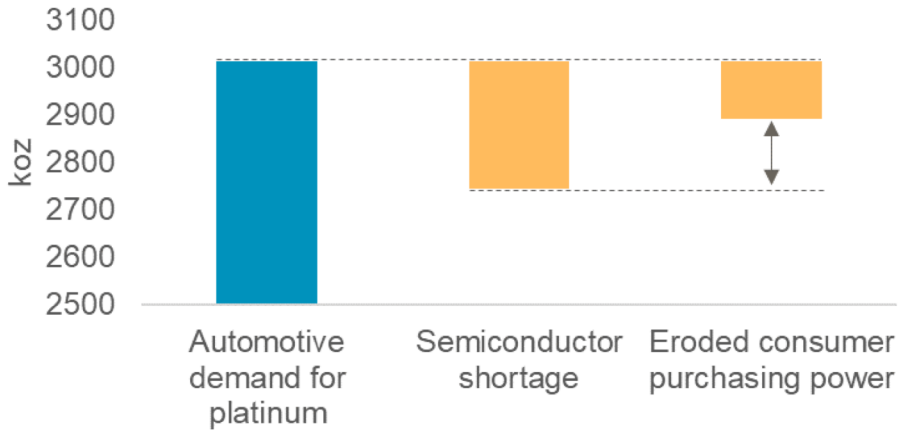
- ノリリスクニッケルは下半期に制裁関連の生産課題について予告
- ロシア産のPGM 供給を完全に代替することは不可能

資料: メタルズフォーカス、WPIC リサーチ　*各社が発表した生産目標で、最後の年の生産目標を将来の年度にも当てはめた中間値

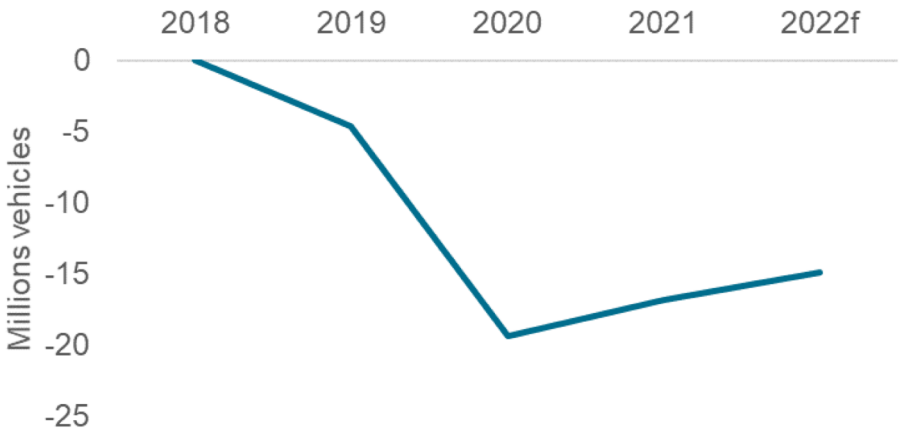
頭打ちの自動車生産は、既に景気後退中の消費者需要の水準以下

World Platinum Investment Council

半導体不足がプラチナ需要を押し下げる可能性は、景気後退による消費者需要の減退より低い



自動車の減産とコロナ以前の普通乗用車生産台数



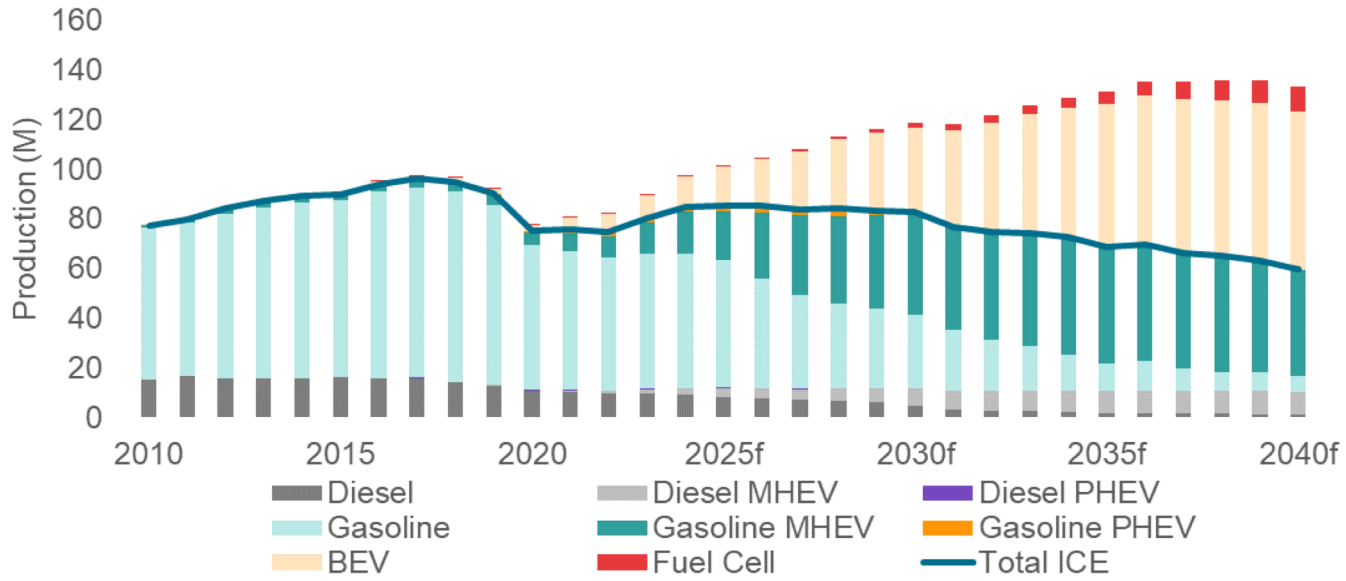
- 消費者購買力は年末までに 4.8% 減退
- サプライチェーン問題が自動車生産に与える打撃は、景気後退による消費者需要の減退よりも低い…
- …特にコロナ禍による新車減産で鬱積した需要を考慮するとなおさら

資料: WPIC リサーチ、国際自動車工業連合会、マッキンゼー、LMC オートモーティブ

脱炭素化はすぐさま内燃機関車の終わりをもたらすわけではない

World Platinum Investment Council

WPIC による、2040年までの様々なドライブトレインの状況予測 – 内燃機関は、電動化が困難な分野において依然大きな市場を占め続けるだろう

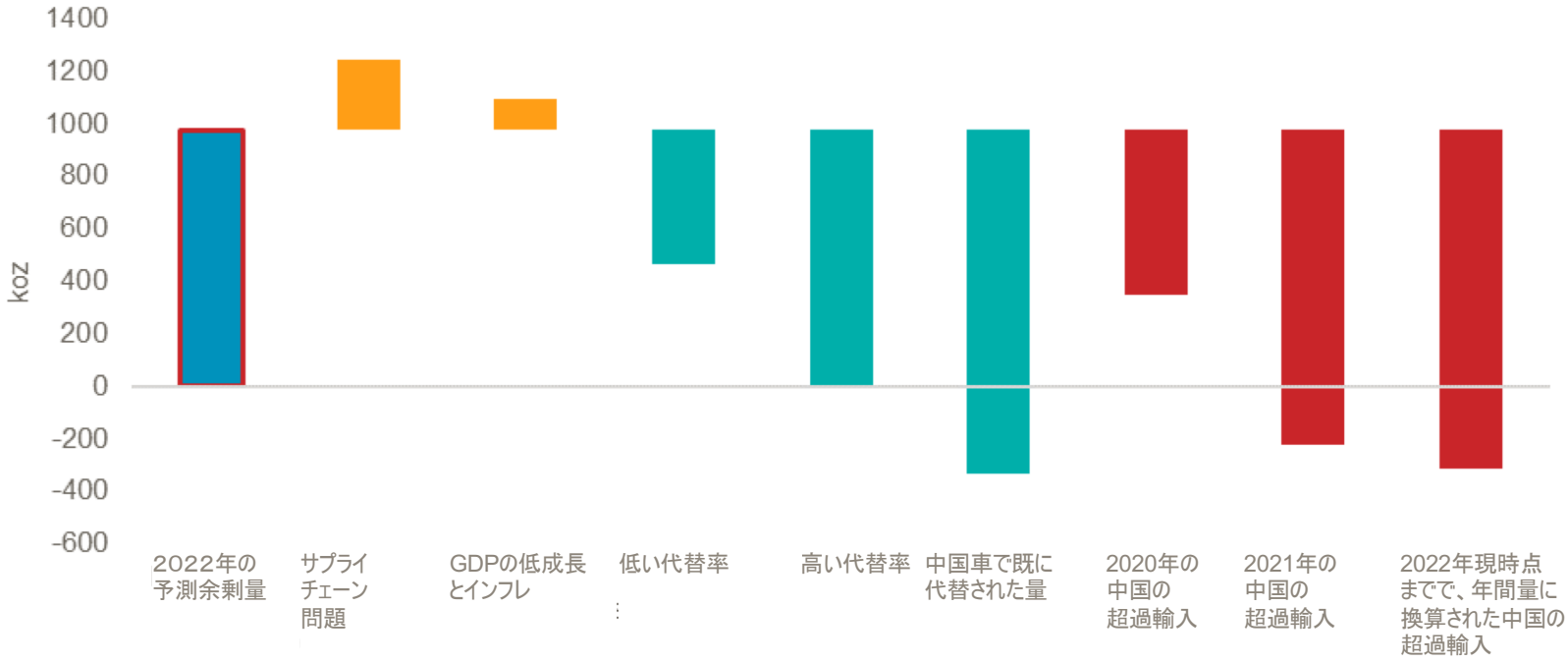


- WPIC は、全ての車種や分野、地域で電動化が進むわけではないと考える
- 従って、内燃機関車は2040年まで、ドライブトレインの主要なものとして存在し続けるだろう

参照レポート: プラチナ投資のエッセンス　2022年6月「自動車の様々なドライブトレインの今後の見通しと長期的なプラチナ需要との関連」

資料: WPIC リサーチ、国際自動車工業連合会、欧州自動車工業会、ブルームバーグ

2022 年の余剰予測が減少・解消される要因



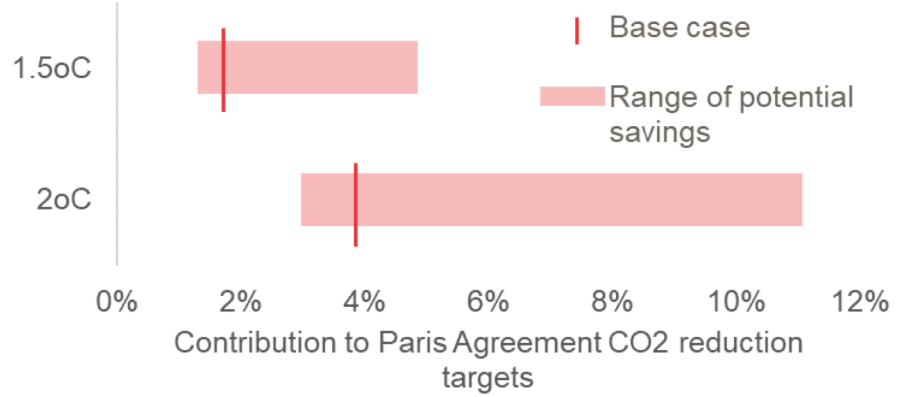
- 顕在化された需要よりも、潜在的に大きな需要成長をもたらす要素があることで、需要減退のリスクは、軽減される
- 車の新型モデルの触媒装置でパラジウムに代わってプラチナの代替が進めば、余剰を減少・解消できるが、より大きなインパクトがあるのは、中国車の触媒に使われるプラチナの量が増えることである

資料: メタルズフォーカス、WPIC リサーチ

プラチナベースのグリーン水素製造によって炭素排出削減目標の10% 以上を達成可能

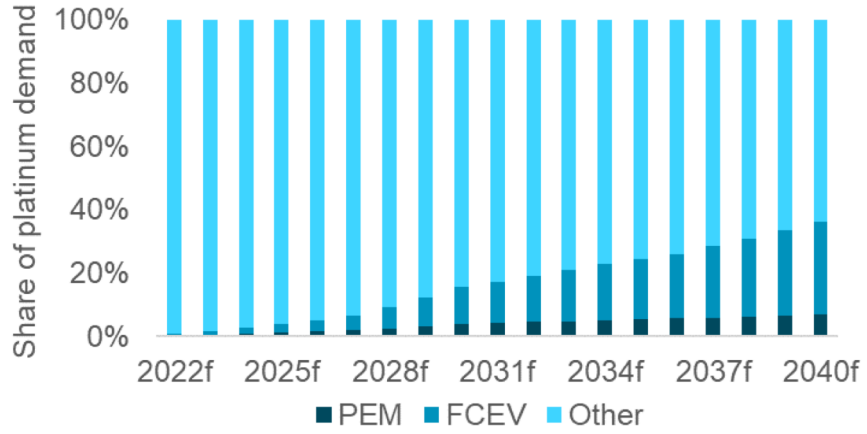
World Platinum Investment Council

プラチナベースを使う炭素排出削減量は世界の炭素削目標の 10%以上



- プラチナベースのグリーン水素製造は、パリ協定にある世界の気温上昇を2ºCに抑制するための炭素排出削減目標の 10% 以上に貢献可能

水素関連のプラチナ需要は2040年までに年間需要の 30% 以上になる可能性



- 水素関連のプラチナ需要は2040年までに年間需要の 30% 以上になる可能性

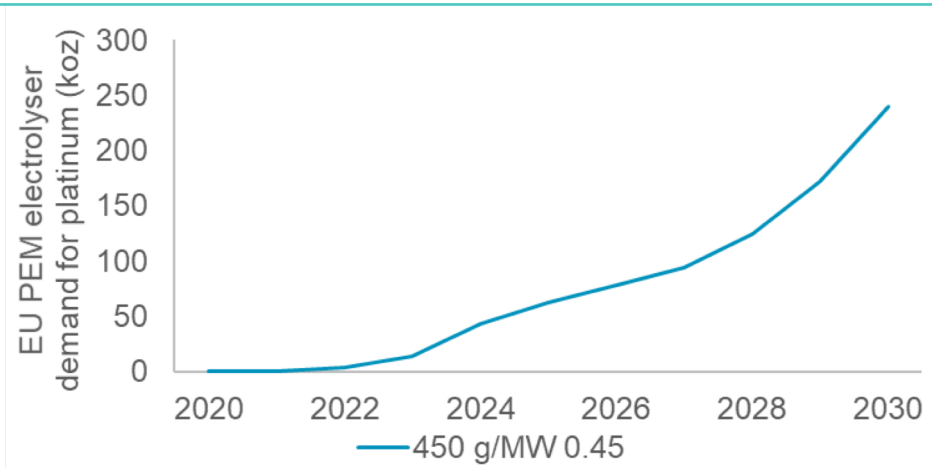
参照レポート: プラチナ展望 2022年8月「グリーン水素製造と燃料電池自動車に使われるプラチナは炭素排出削減に大きく貢献

資料: 国連、WPIC リサーチ、メタルズフォーカス 2022 (総需要)、WPIC リサーチ(2023 年以降)

政府支援のグリーン水素製造は世界的に増加

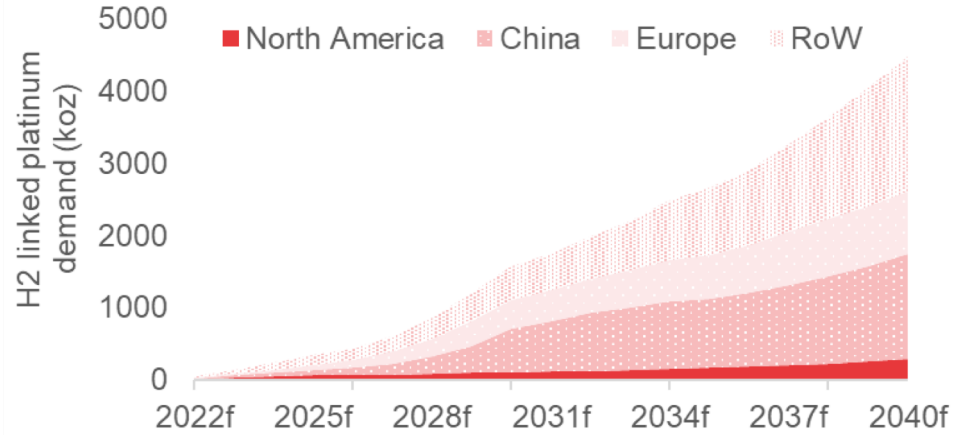
World Platinum Investment Council

EU がロシア産天然ガスをグリーン水素で置き換える計画は、プラチナ需要にとって朗報



- ロシア産の天然ガスをグリーン水素で置き換えるEUの計画はプラチナ需要を2030年までに年間で約7.8 トン増やす可能性

北米の水素計画は、中国と欧州に比べ遅れている



- 北米の水素計画は前政権の支援欠如のため、遅れている
- インフレ削減法はその状況を変える

資料: 国際エネルギー機関、WPIC リサーチ

なぜプラチナに投資 — 供給リスク、グリーン水素、投機的投資

- 経済の見通しが不透明な中、自動車需要、宝飾品需要、工業需要は堅調
- 自主的な制裁によってロシア産材料が世界市場から排除されれば、自由な取引が可能な世界の供給に制限
- 中国の過剰な輸入で現物市場の品不足が続くが、予測される余剰全体を中国が吸収する可能性
- 世界の脱炭素化に果たすプラチナの役割は長期的な需要の成長を示唆

プラチナの需給バランスと価格に影響を与える プラスの要因、マイナスの要因

変動	考えられる要因	考えられる時期
プラス	ロシアの鉱山供給に問題が発生	2022年下半期か2023年、あるいは両方
プラス	中国の過剰な輸入が、自動車または工業の需要目的と確認される	2022年下半期か2023年、あるいは両方
プラス・マイナス	中国の輸入過剰の継続が確認される	2022年下半期

注: プラス = 余剰量が減り、あるいは供給不足が増えてプラチナ価格が上がる、マイナス = 余剰が増え、あるいは供給不足が減り、プラチナ価格が下落

議題:　プラチナ四半期レポート　ー　2022年第2四半期、2022年全体

World Platinum Investment Council

1.初めに
CEO ポール・ウィルソン

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレビュー
トレバー・レイモンド

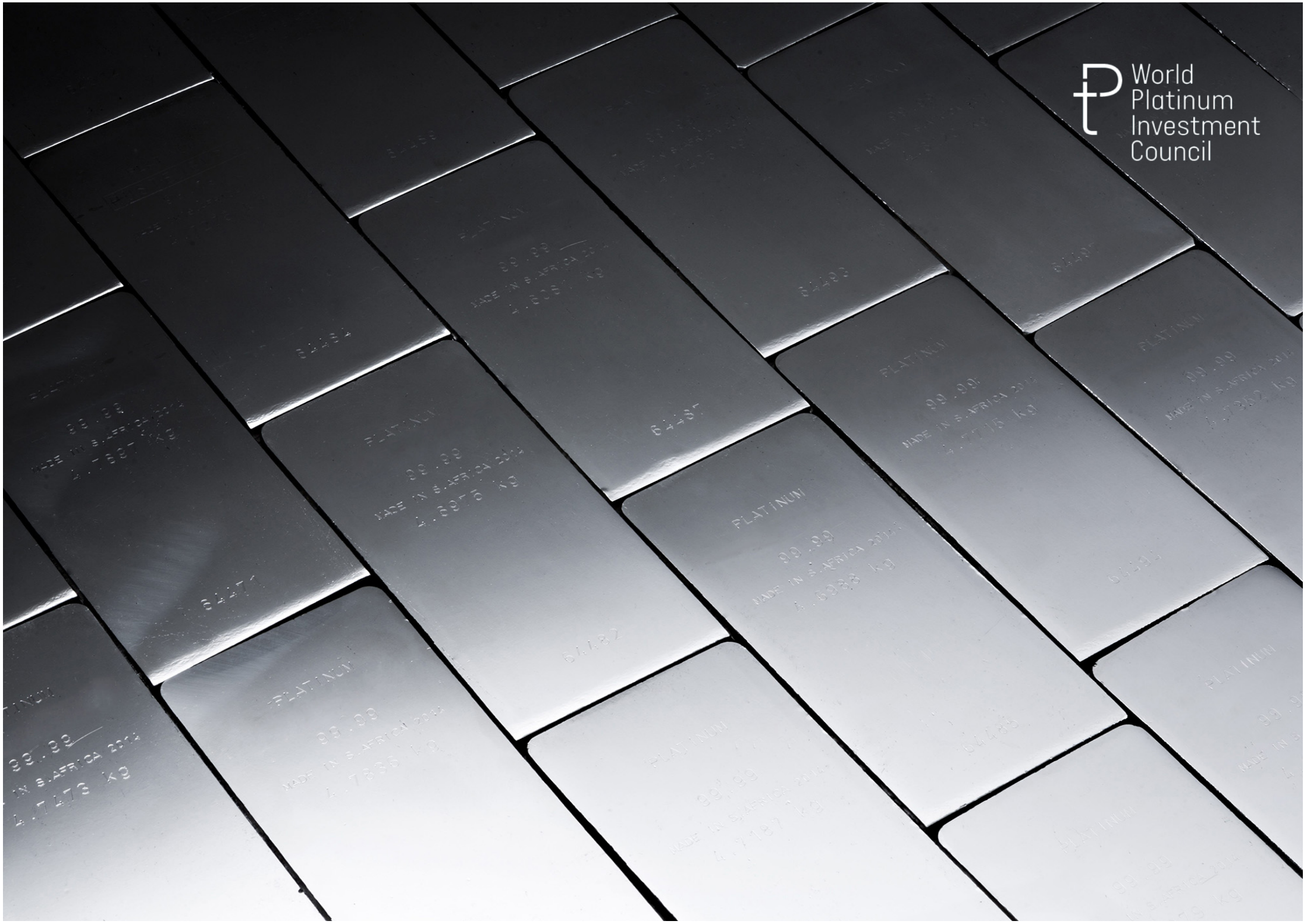
3. 現在のテーマ
エドワード・スターク

4.質疑応答
CEO ポール・ウィルソン
リサーチ・ディレクター　トレバー・レイモンド
アナリスト　エドワード・スターク

今後計画されているイベントとリサーチ

WPIC イニシアチブ:

- 中国上海の **Lin Gang** に設立されるPGMに特化した貿易と技術開発センターは、研究所、産業パーク、オフショアPGM市場、PGM関連のベンチャキャピタルファンドを含む
- **上海プラチナウィーク** 9月5日より開催
- パートナー企業のプラチナ需要量は予算を上回り、2021年と同レベル
- プラチナを利用する炭素排出削減技術に着目したリサーチ


World
Platinum
Investment
Council